



津山工業高等専門学校校報

第163号

令和5年 9月25日発行

(令和5年4月1日～令和5年7月31日)

目 次

校内諸規則

◎津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校事務分掌規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校学生の自動二輪車等使用規程の一部改正	2
◎津山工業高等専門学校自動車管理運用規程の一部改正	3

人事異動	3
------	---

主要日誌	7
------	---

諸 報

○着任式	9
○新任教員研修	9
○寮生集会	9
○入学式	9
○入寮式・新入寮生と寮上級生との対面式	10
○寮生総会・寮生会役員認証式	10
○専攻科入試説明会	10
○北辰寮防火避難訓練	10
○リーダー研修会	10
○学生総会	10
○春季校内スポーツ大会	10
○第70回美作地区高校総体	10
○国際交流校内研修会	11
○令和5年春叙勲受章者来校	11
○海外研修帰国報告会	11
○学生募集（専攻科推薦入試）	11
○包括連携・協定に関する協定調印式	11
○大連東軟信息学院からの招聘教員が津山市長を表敬訪問	11
○第17回包括連携協定代表者会議	12
○令和5年度中国地区高等専門学校執行長会議	12
○海外研修キックオフミーティング	12
○学生募集（専攻科学力入試）	12
○新入寮生防火避難訓練	12
○第1回先端技術特別講義	12
○知的財産セミナー	13
○1年生校外教育	13
○校外教育・工場見学	13
○第59回中国地区高等専門学校体育大会	14
○第1回FD研修会	15
○知財セミナーを開催	15

○寮生バドミントン大会-----	15
○「津山高専技術交流プラザ」会員企業見学バスツアー-----	15
○海外研修キックオフミーティング-----	15
○韓国・永進専門大学の学生の短期受け入れ-----	16
○先進教育各賞授賞式-----	16
○第6回日台国際カンファレンス-----	16
○第2回先端技術特別講義-----	16
○中国地区高等専門学校事務部長会議-----	17
○科学研究費-----	17
○受託事業-----	20
○受託研究-----	20
○共同研究-----	20
○寄附金-----	21

校内諸規則

◎ 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第18号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程
- 3 改正年月日 令和5年5月30日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 津山工業高等専門学校における事務組織改編のため内容の一部改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校事務分掌規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第19号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校事務分掌規程
- 3 改正年月日 令和5年6月21日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 学生課における業務変更のため、事務分掌規程を一部改正する。

◎ 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第20号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校労働時間管理者の指名に関する規程
- 3 改正年月日 令和5年6月21日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 学生課における業務変更のため、規程について軽微な改正を行う。

◎ 津山工業高等専門学校学生の自動二輪車等使用規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第21号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校学生の自動二輪車等使用規程
- 3 改正年月日 令和5年3月24日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 道路交通法の改正に伴う自動二輪車等の定義の追加、および各種届出様式について軽微な変更を行う。

◎ 津山工業高等専門学校自動車管理運用規程の一部改正

- 1 改正番号 規程第22号
- 2 規程の名称 津山工業高等専門学校公用車管理運用規程
(旧名称：津山工業高等専門学校自動車管理運用規程)
- 3 改正年月日 令和5年7月19日
- 4 改正者 津山工業高等専門学校長 岩佐健司
- 5 改正理由 教職員の自家用自動車の業務使用に伴い，諸規則の整備を行う。

人事異動

校内のみ

校内のみ

校内のみ

校内のみ

校内のみ

主要日誌

4月1日	開寮
3日	着任式，新任教員研修，専攻科運営委員会，寮務委員会
3日～4日	環境委員会（メール会議）
4日	教務委員会，留学生・編入生オリエンテーション，学生生活委員会，寮生集会
5日	入学式，新入生オリエンテーション，保護者懇談会，専攻科説明会， 専攻科2年生オリエンテーション，入寮式，新入寮生と寮上級生との対面式
6日	始業式・オリエンテーション，1年生課題テスト， 専攻科新入生オリエンテーション，寮生総会，寮生会役員認証式
7日	授業開始
10日	企画会議
11日	教員会議，新入生歓迎会
12日	（臨時）運営会議
12日～6月1日	健康診断
14日	（臨時）教員会議
17日	広報委員会
18日	安全衛生委員会，生命倫理委員会，教務委員会，専攻科入試説明会， 学生生活委員会，新入寮生防火避難訓練
20日	寮務委員会
22日	リーダー研修会

24日	企画会議，図書館運営委員会
25日	運営会議
25日～26日	(臨時) 運営会議 (メール会議)
26日	学校運営評価委員会
28日	総合支援センター運営委員会
5月8日	情報セキュリティ管理委員会
9日	研究推進委員会，学生総会
10日	環境委員会，専攻科運営委員会，春季校内スポーツ大会， プロコン校内審査会
10日～12日	臨時学生生活委員会
11日～17日	広報委員会
13日～14日	第70回美作地区高校総体
15日	企画会議
15日～19日	授業公開週間
16日	安全衛生委員会，教務委員会，学生生活委員会
17日	令和5年春叙勲受章者来校
18日	寮務委員会，総合情報センター運営委員会
19日	海外研修帰国報告会
22日	専攻科推薦入試，専攻科(拡大)運営委員会，
23日	運営会議，教員会議
24日～25日	臨時学生生活委員会
25日	専攻科推薦入試合格発表，ロボコン校内審査会
26日～6月2日	生命倫理委員会 (メール会議)
30日	国際交流センター運営委員会
6月3日～4日	第62回岡山県高校総体，中国地区高専執行長会議 (呉高専)
5日～9日	教育システム点検委員会 (メール会議)，前期中間試験
6日	専攻科運営委員会
7日	入学試験委員会
8日	キャリア教育委員会
9日	海外研修キックオフミーティング
12日	企画会議，専攻科学力入試，専攻科(拡大)運営委員会
13日	教務委員会，学生生活委員会
14日	環境委員会
14日～21日	図書館運営委員会 (メール会議)
15日	寮務委員会，北辰寮防火避難訓練
16日	専攻科学力入試合格発表
17日～18日	第59回中国地区高専体育大会 (水泳競技)
19日～23日	安全衛生委員会 (メール会議)
20日	運営会議，1年生校外教育，2年生工場見学 (2-S, 2-E, 2-C)， 4年生工場見学 (4-M, 4-E)
21日	広報委員会
23日	中国地区高専体育大会参加説明会
27日	2年生工場見学 (2-M)，専攻科運営委員会，国際交流センター運営委員会
27日～28日	(臨時) 運営会議 (メール会議)
29日～30日	臨時学生生活委員会
30日～7月2日	第59回中国地区高専体育大会 (硬式野球競技)

7月1日～2日	第59回中国地区高専体育大会（陸上競技）
3日	専攻科学位申請説明会
4日	専攻科特別研究指導教員説明会，中国地区高専体育大会壮行会
7日～9日	第59回中国地区高専体育大会
10日	企画会議，第1回FD研修会
11日	4年生工場見学（4-S，4-C・C-4），教務委員会，学生生活委員会
11日～13日	寮生バドミントン大会
12日	中学校との意見交換会，海外研修キックオフミーティング
13日	寮務委員会，図書館運営委員会
18日	運営会議，教員会議，安全衛生委員会，先進教育各賞授賞式
20日～21日	臨時学生生活委員会
24日	企画会議
27日	中国地区高等専門学校事務部長会議
27日～8月2日	本科・専攻科前期末試験
28日	教職員定期健康診断
31日	総合支援センター運営委員会

諸 報

○着任式

4月3日（月）に，本校合併教室において新任教職員の着任式を執り行った。今年度の着任式についても，昨年度に引き続き本校教職員へのオンライン配信を同時に行った。本着任式では，教職員それぞれについて紹介があった後，各人からの挨拶があった。

○新任教員研修

4月3日（月）に，令和5年度新任教員を対象に，教員としての心構えを自覚するとともに，本校の主な組織の概要等について学ぶことを目的として，新任教員研修を開催した。

研修では，事務部・技術部から職務内容や各種手続きについて説明が行われ，教務主事・学生主事・寮務主事からは各種業務についての講義が行われた。

○寮生集会

4月4日（火）15時より，第一体育館にて寮生集会が行われた。

まず，寮務主事から寮生へ今年度の寮生活におけるさまざまな留意事項が周知された。

その後，寮務委員の先生からの挨拶で担当する寮生会の委員会について説明があった。

最後に，廣木主事補から新型コロナウイルス感染症に関する留意事項等について説明があった。

○入学式

4月5日（水）午前10時から，入学式を挙行し，167名の本科新生，6名の編入生（3年に編入する留学生5名を含む），17名の専攻科新生が入学許可された。今年度も，タイ政府の奨学生に選ばれた留学生2名が本科1年生に入学している。

谷口津山市長から祝辞があり，岩佐校長から，「本校は，人類の幸福に貢献するに足る「優れた専門力」と「健全な人間性」を鍛えるための学びの場です。高専生としての自覚と高い志をもち，自ら積極的に学ぶ心を持ってください。高専卒業生の活躍の場は今や世界に広がっています。常に世界に目を向け広い視野をもつよう心掛けてください。」と式辞があった。

そして，本科新生と専攻科新生の代表者がそれぞれ宣誓を行った。

この日は，後援会総会，新入生保護者説明会，クラス別保護者懇談会，入寮式，北辰寮後援会総会と沢山の行事が行われた。

○入寮式・新入寮生と寮上級生との対面式

4月5日（水）に、入寮式および新入寮生と寮上級生との対面式を行った。

13時30分より行われた入寮式では、これから北辰寮の寮生として生活をする新入生と保護者へ、寮務委員会と寮生会、寮務係職員の紹介を行い、今後の寮生活の説明などが行われた。

同日19時40分からは、新入寮生と寮上級生との対面式として、男子は多目的ホール、女子は国際交流ホールで新入生の自己紹介等を行った。

○寮生総会・寮生会役員認証式

4月6日（木）の19時40分から、第二体育館にて寮生総会および寮生会役員認証式を行った。

最初に行われた寮生総会では、寮生会長から生活面での注意事項と寮務主事からの連絡事項等が伝えられ、その後寮生会会計から昨年度の決算と今年度の予算について説明があり、承認された。

引き続き行われた寮生会役員認証式では、寮務主事から指導寮生に認証書が手渡され、激励された。

○専攻科入試説明会

4月18日（火）4、5年生を対象に専攻科入試説明会が開催され、専攻科修了生による講演が行われた。現在の仕事内容や専攻科を目指す学生への心構えなどを講演していただき、参加者は進路を考えるうえでの参考となった。

講演者 津山工業高等専門学校技術部 清水 大輝 氏

○北辰寮防火避難訓練

4月18日（火）の15時00分から、津山圏域消防組合より講師を迎え新入寮生防火避難訓練を実施した。

新入寮生と指導寮生はハンドボールコートに集合した後、水を使用した消火器を実際に扱って初期消火の方法を体験した。

また、火事の際の心構えなども並行して周知が行われ、新入寮生は今後の寮生活での安全への意識を高めていた。

最後に寮務主事からの講評があり訓練は終了となった。

○リーダー研修会

4月22日（土）に本校の合併教室等を利用し、リーダー研修会が開催された。

この会は、課外活動などで指導的立場にある学生が集まり、毎年開催されているもので、当日は学生会役員や運動局・文化局の部長・同好会長が学生会運営・今年度予算などについて活発に議論した。

○学生総会

5月9日（火）に学生総会が放送形式で開催された。

この総会は、学生会が中心となって開催するもので、当日は前年度決算及び今年度予算の承認、年間事業計画の承認を問うインターネット投票が行われた。

○春季校内スポーツ大会

5月10日（水）に令和5年度春季校内スポーツ大会が開催された。

今回実施された競技種目は、ソフトボール・バドミントン・バレーボールの3種目で、各クラスが優勝目指して全力を発揮した。

○第70回美作地区高校総体

5月13日（土）～14日（日）に第70回美作地区高等学校総合体育大会が開催され、各運動局に所属する3年生以下の学生が様々な競技に参加した。

主な成績（第3位以上の団体）は次のとおり。

- 優勝 卓球（男子），ラグビーフットボール，登山
第2位 登山，バレーボール（男子）
第3位 バドミントン（男子団体）

○国際交流校内研修会

5月16日（火）に、津山市出身の元外務省参与 堀江 正彦 氏を本校に講師としてお招きし、国際交流校内研修会を開催した。「国際交流Ⅰ」の履修者を中心に約30名が参加した。

研修会では、「なぜ日本にグローバル人材が必要なのか」をテーマに講演いただき、最後に国際交流を通じて世界に友人をつくり、異文化理解を深めながら、海外に飛躍してほしいとのメッセージをいただいた。

○令和5年春叙勲受章者来校

春の叙勲で瑞宝小綬章を受章された本校名誉教授の本元基司先生が、5月17日（水）に御礼のご挨拶のため来校された。瑞宝章は、公務等に長年従事し、功労のある方に授与されるもので、本元先生は本校で39年間、教育研究活動と校務に尽力された。昨年までは新型コロナウイルスの影響により、本校で伝達式を行っていたが、今年は文部科学省主催の伝達式が開催された。

本元先生は岩佐校長と面会して謝辞を述べられ、岩佐校長からは受章のお祝いの言葉があった。

○海外研修帰国報告会

5月19日（金）に、令和4年12月と令和5年3月に実施した海外研修の帰国報告会を開催した。

令和4年12月に実施した合同研究発表会with大連東軟信息学院，タイ王国プリンセスチュラポンサイエンスハイスクール科学技術研修，令和5年3月に実施したベトナムでの海外インターンシップ，シンガポール科学技術研修，その他，他高専が主催するタイICT-Fair，台湾国立聯合大学海外研修，韓国永進専門大学語学研修プログラムに参加した学生から英語を交えて研修の内容や成果，これから参加する人へのメッセージなどを発表した。

○学生募集（専攻科推薦入試）

5月22日（月）本校において、令和6年度専攻科推薦入学者選抜試験を実施し、5月25日（木）に合格者を発表した。志願・合格状況は次のとおりである。

志願者15名

（機械・制御システム工学専攻6名，電子・情報システム工学専攻9名）

合格者15名

（機械・制御システム工学専攻6名，電子・情報システム工学専攻9名）

○包括連携・協定に関する協定調印式

5月24日（水）に津山高専と萩原工業株式会社との包括連携・協定に関する協定調印式を行った。

調印式には、津山高専岩佐健司校長，萩原工業株式会社浅野和志代表取締役社長及び関係者が出席し、協定書に調印した。

このたびの協定により、萩原工業株式会社と津山高専の双方が有する人材・物的資源を有効に利用して、地域の活性化と産業の発展が期待される。

○大連東軟信息学院からの招聘教員が津山市長を表敬訪問

5月31日（水）に、今年4月に来日した本校の協定校である大連東軟信息学院からの招聘教員が、津山市長を表敬訪問した。

はじめに、谷口市長から歓迎のお言葉をいただいた後、招聘教員は自己紹介をし、大連市についてや津山市の印象などについて、お話した。

最後に、市長から、今後も津山高専の学生のためによりしく願いますとお言葉をいただいた。

○第17回包括連携協定代表者会議

6月1日（木）に、津山高専が「包括連携協定」を締結している津山市と美作大学との代表者会議を、美作大学の当番により開催された。

「包括連携協定」は三者間で平成20年度に締結し、様々な分野において相互に協力し、地域社会の発展や人材育成などに連携して取り組むこととしており、今回が17回目の代表者会議となる。

会議には岩佐校長をはじめとして、谷口津山市長、鶴崎美作大学長など関係者が出席し、令和4年度の事業取組内容の総括の後、令和5年度の事業活動方針について話し合った。

また、一層の連携強化に向けた意見交換が行われた。

○令和5年度中国地区高等専門学校執行長会議

6月3日（土）～4日（日）の2日間にわたり、令和5年度中国地区高等専門学校執行長会議が呉高専を当番校に開催され、本校から学生会長及び弥生祭実行委員長の2名がオンラインで参加し、学生会の活動などについて活発な議論を行った。

○海外研修キックオフミーティング

6月9日（金）に、この夏に海外研修に参加する学生のキックオフミーティングを開催した。

カナダホームステイプログラムに参加する21名、韓国の大学での研修4名、そして本年度内に実施される官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」に採択された5名の総勢30名の学生が参加した。

担当教員からの激励の挨拶や各研修の代表学生からの決意表明を行った。

○学生募集（専攻科学力入試）

6月12日（月）本校において、令和6年度専攻科学力入学者選抜試験を実施し、6月16日（金）に合格者を発表した。志願・合格状況は次のとおりである。

志願者2名

（機械・制御システム工学専攻0名、電子・情報システム工学専攻2名）

合格者2名

（機械・制御システム工学専攻0名、電子・情報システム工学専攻2名）

○新入寮生防火避難訓練

6月15日（木）19時40分より、北辰寮防火避難訓練を実施した。

夜間に寮地区から出火するという状況を想定し、今回はごみ捨て場前で発炎筒を焚き、寮生の避難から安否確認までの流れを確認した。

その後、想定される避難先の第二体育館にて寮務主事および寮生会防災委員長より、訓練状況の総評及び今後の課題等について指導がされた。

○第1回先端技術特別講義

6月19日（月）に合併教室で、講師の先生をお招きして、本年度第1回目の先端技術特別講義を、次のテーマで実施した。

「SNSで知能を考える ～双対性の世界～」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科人間知能システム工学専攻

古川 徹生 先生

双対とは、数学の概念で、「二つのよく似た物があり、対称性によって、お互いに何かをひっくり返すと相手に変わる」というような裏表の関係にあるものを指す。データ空間と関数（モデル）空間、情報処理と学習、表現と実体、「評価される」と「評価する」などの外延と内包の関係にあり、見えるデータから見えない本質をみるための方法について、講義していただいた。

さらに「概念や知識のあるところには双対がある」、また「双対性は自己を知る鏡となる」というお話から、双対性を使えば、一見するとあまり関係がないように思えるような事象の間にある、共通する意味、関係を把握したり、ある事象から連想的に別の新しい概念を見いだしたりすることで、新しい考え方、モデル、独自の理論（概念と概念のつながり）をつくりあげていくこともできることの可能性についてもお示しいただいた。

参加した専攻科生は、先生がご教示くださった双対性の世界を、興味深く聞いていた。

質疑応答では、多くの学生から双対性について活発な質問があり先生と意見交換する場面もあった。

あわせて、九州工業大学大学院生命体工学研究科の説明や九州工業大学での教育・研究活動の紹介、進路選択にあたって心掛けておくべきことについてのお話をいただいた。

高度な研究内容を短時間で専門でない者にとってもわかりやすく説明していただいた古川先生に、お礼申し上げます。

○知的財産セミナー

6月20日（火）に多目的ホールで、5M5C合同で知的財産セミナーを開催した。

今回は日本弁理士会より講師をお招きして、特許に関する概要編の講義をしていただいた。

講義の中では、どのような発明が特許になるのかを、学生と講師が台本を読みながらストーリー形式で進める場面もあった。

知的財産について具体的な例を交えながら話しをしていただいたため、分かりやすく学ぶことができ、参加した学生も真剣に話しを聞いていた。

○1年生校外教育

6月20日（火）本校及び津山勤労者総合福祉センター体育館において1年生を対象に「サンシェードを用いたソーラークッカー作成（ワークショップ）」および「新入生課題（ものづくり）に関する代表発表と評価活動」が行われた。

○校外教育・工場見学

2年生および4年生を対象に、勉学に対する意識や仕事に対する理解を養うことを目的として、校外教育・工場見学を実施した。各クラスの日付・会場・見学先は次のとおり。

（2年生）

先進科学系	6月20日（火）	理化学研究所 放射光科学総合研究センター 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所天文科学センター
機械システム系	6月27日（火）	三菱電機株式会社 姫路製作所 広畑工場
電気電子システム系	6月20日（火）	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所 旭化成株式会社 水島製造所
情報システム系	6月20日（火）	理化学研究所 放射光科学総合研究センター パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社

（4年生）

先進科学系	7月11日（火）	三菱ケミカル株式会社岡山事業所 岡山大学 理学部
機械システム系	6月20日（火）	グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社 グリコピア神戸 住友大阪セメント株式会社 赤穂工場
電気電子システム系	6月20日（火）	関西電力株式会社 姫路第一発電所 グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社 グリコピア神戸
情報システム系	7月11日（火）	株式会社島津製作所 本社・三条工場

○第59回中国地区高等専門学校体育大会

第59回中国地区高等専門学校体育大会が7月7日（金）～9日（日）（水泳競技は6月17日（土）～18日（日），硬式野球競技は6月30日（金）～7月2日（日），陸上競技は7月1日（土）～2日（日））に開催され，本校の学生が参加し健闘・活躍した。

大会の結果（第3位以上の団体・個人）は次のとおり【○印は全国大会出場】。

陸上競技

（男子）

100m 第2位 ○竹内脩斗（5-M）

200m 優勝 ○西尾 孔（5-C）

第3位 ○竹内脩斗（5-M）

400m 第2位 ○西尾 孔（5-C）

110mH 優勝 ○土居积晏（3-E）

4x400mR 優勝 ○土居积晏（3-E），竹内脩斗（5-M），横内倅大（2-S），西尾 孔（5-C）

（女子）

100m 優勝 ○宗元早矢（5-S）

走幅跳 第3位 宗元早矢（5-S）

4x100mR 第2位 赤木りこ（5-E），宗元早矢（5-S），植木かなた（3-E），
江見 心（3-S）

女子総合 第3位

卓球競技

（男子）

団体 第2位

個人シングルス 第2位 ○鈴木慎也（5-M）

個人ダブルス 第3位 鈴木慎也（5-M）・妹尾匠真（3-S）

柔道競技

（男子）

団体 第2位 ○

個人73kg級 第3位 ○森下優士（1年）

個人無差別級 優勝 ○勝浦歩夢（3-E）

（女子）

個人57kg級 優勝 ○根本菜羽（1年）

水泳競技

（男子）

400m自由形 第2位 ○川田光太郎（4-C）

800m自由形 第2位 ○川田光太郎（4-C）

（女子）

100m平泳ぎ 第2位 ○岡田果奈（2-M）

テニス競技

（男子）

団体 第2位

個人シングルス 優勝 ○青木佑仁（2-S）

個人ダブルス 第2位 ○福原昂生（5-M）・青木佑仁（2-S）

バドミントン競技

(男子)

団体 第2位

個人シングルス 第3位 山下夢翔 (4-E)

個人ダブルス 第3位 竹内一真 (4-M) ・寺尾 尋 (3-C)

○第1回FD研修会

7月10日(月)14時00分から、令和5年度第1回FD研修会を開催した。

第1回となる今回については、グローバルエンジニア育成事業のヒアリングのため高専機構本部より来校した青木国際総括参事による講演が行われた。

主に高専の高度化・国際化について、タイ高専を中心とした内容の講演、質疑応答が行われ、高専機構の目指す海外展開の方向性について、本校教職員の意識を高める研修となった。

発表題目と発表者

「国立高専機構の海外展開と国際交流が目指すもの」 青木 宏之 国際総括参事

○知財セミナーを開催

7月11日(火)に、日本弁理士会の支援により本校の専攻科学生を対象にした知財セミナーを船曳特許事務所 船曳 崇章 先生をお招きして開催した。

セミナーは「特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで」を題にして、特許権取得後のライセンスや、模倣品製造者に対する警告・特許権侵害裁判等、特許権を取得した後の具体的な権利行使内容について紹介した。

○寮生バドミントン大会

7月11日(火)～13日(木)に寮生バドミントン大会を開催した。

各寮棟のフロアごとに寮生でチームを組み、トーナメント戦を行い、寮生同士白熱した試合が繰り広げられ、数多くの声援が飛び交った。

○「津山高専技術交流プラザ」会員企業見学バスツアー

7月12日(水)に、津山高専の学生に地元企業を知ってもらうことを目的として、「高専生企業見学バスツアー」が開催された。

これは、つやま産業支援センター主催・岡山県民局共催で、7月21日(金)～22日(土)に「津山圏域内の工場、企業を一斉公開することで、地域のモノづくりや企業の魅力について、小中高生等を中心に、地域内外の多くの方に伝える機会を創出する」ことを目的に開催される「津山エリアオープンファクトリー2023」のプレイベントとして、企画されたもの。

今回見学させていただいた企業は「共和機械株式会社(津山市河面)」「株式会社山田養蜂場(鏡野町市場)」の2社で、津山高専の学生65名が、2つのグループに分かれて見学をした。

見学の後、津山高専出身である先輩社員から「学校での実習はレポート等が大変だと思うが非常に大切だから頑張ってください」「会社に入ってから勉強が非常に重要だが、学校でしか学べないことがあるのでしっかり勉強してほしい」「学生時代に学習したプログラミングの知識などが役に立っている」などのアドバイスがあり、学生たちは真剣に聞き、日頃の学習の大切さを改めて知る機会にもなった。

○海外研修キックオフミーティング

7月12日(水)に、この夏に海外研修に参加する学生のキックオフミーティングを開催した。

今回は、国立聯合大学(台湾)夏季専門研修3名、海外インターンシップinインドネシア1名(計4名)の学生が参加した。

岩佐校長から激励の挨拶をいただき、各研修に参加する学生から海外研修への抱負など決意表明がありました。

○韓国・永進専門大学の学生の短期受け入れ

7月14日（金）～21日（金）の期間、協定校である韓国・永進専門大学機械系系列系の学生5名が本校に滞在し、機械システム系3年のクラスに入り、授業や実験実習に参加した。

いずれも機械系列で設計と日本語を中心に学んでおり、日本語で授業や実験実習に参加した。

受け入れクラスである3-Mの学生を中心に、本校の学生とも積極的に交流を行い、充実した時間を過ごした。

○先進教育各賞授賞式

7月18日（火）に津山工業高等専門学校先進教育各賞授賞式が行われた。

本校では、教育の充実・発展を図るため、先進教育に関する各分野で顕著な業績を挙げた者の表彰を実施しており、今年度は5名の受賞者を決定した。

「先進教育研究指導賞」	電気電子システム系	教授	西尾 公裕
「先進教育論文賞」	先進科学系	准教授	谷口 圭輔
「先進教育支援貢献賞」	機械システム系	教授	加藤 学
「先進教育支援貢献賞」	技術部	技術職員	小林 るみ
「先進教育支援貢献賞」	学生課	学生寮指導員	手嶋 由美

○第6回日台国際カンファレンス

7月21日（金）～22日（土）に、愛媛県松山市の道後温泉にあるにぎたつ会館で第6回NIT-NUU日台国際カンファレンス（The 6th NIT-NUU Bilateral Academic Conference 2023、主催：中国四国地区の高専と台湾国立聯合大学）に、本校の学生1名が参加し、自身の研究成果を口頭で発表した。

今回は、使用言語として英語が指定されており、計51件の口頭発表とスタープレゼンテーションが行われた。

○第2回先端技術特別講義

7月24日（月）に合併教室で、専攻科の本年度第2回先端技術特別講義が、ボランティアレクチャーとして実施した。

講師は株式会社RELATIONの方々で、次のテーマで講演した。

「挨拶、会社概要説明」

社長 鷹取 貞次 様

テーマ：Webシステム開発とプログラムの自動生成

青草 行宣 様

テーマ：スマホアプリ開発のいろは

古矢 拓真 様

テーマ：知ってますか？インフラエンジニア

美甘 幸路 様

会社概要説明の後、はじめに青草様から、システム開発のプロセスをウォーターフォール型開発の場合を例に説明いただいた。

また、システム開発の中での「漏れなく」「効率よく」「ミスなく」を目標にした活動例についてご紹介いただいた。

その後、古矢様からは、システム開発の具体例として身近なスマートフォンアプリを取り上げ、クイズを交えながらその特性、開発の流れについてご説明いただいた。

さらに、オープンソースを使ったアプリ開発の姿についても具体的にご紹介いただいた。

最後に、美甘様から、ITシステム基盤であるITインフラについて、ITインフラが現在では生活に欠かせないライフラインの一部に位置づけられていることを岡山県情報ハイウェイの活用例からお示しいただいた。

そのような情報資産であるITインフラの管理や効率的な運用についてやこのための定期的な見直し、整備についてのご活躍のお話もあわせていただいた。

質疑応答では、学生からシステム開発に係わるための心構えやITシステム基盤に係わる中で展開される情報収集の状況などについての一步踏み込んだ質問があり、盛況に講演会を終えることができた。

株式会社RELATIONの皆様、そして本講演会を準備くださいましたつやま産業支援センターの皆様に、厚くお礼申し上げます。

○中国地区高等専門学校事務部長会議

7月27日（木）に、令和5年度中国地区高等専門学校事務部長会議が津山高専で開催された。

本会議では、本校菅原事務部長によるあいさつの後、以下の議題等について、各高専の現状をもとに活発な議論や情報交換が行われた。

【議題等】

- ・教職員の労働時間の把握について
- ・寄附金の増収方策について
- ・環境整備の費用について
- ・災害用物品リストについて

○科学研究費

職 名 機械システム系 教授
氏 名 井上 浩行
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 上肢拳上作業を補助するモビリティ型パワーアシストシステムの開発

職 名 情報システム系 准教授
氏 名 渡邊 朝美
研究種目 若手研究
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 蘇曼殊の日本観とアイデンティティ形成について

職 名 先進科学系 教授
氏 名 山口 均
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 グラフィック・オーガナイザーを用いた新しい学習英文法の開発

職 名 先進科学系 准教授
氏 名 島田 悠彦
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 非ユニタリの統計模型における共形スペクトラムの解明

職 名 情報システム系 教授
氏 名 曾利 仁
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 AIを搭載した自律型水田除草ロボットの開発

職 名 機械システム系 教授
氏 名 細谷 和範
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額0円
研究課題名 拍動する脊椎管をモデルとするMRIフローファントムによる動態イメージング

職 名 電気電子システム系 教授
氏 名 角谷 英則
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額910,000円
研究課題名 20世紀前半の日本における計画言語普及運動の社会言語学的研究

職 名 機械システム系 教授
氏 名 野村 健作
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額1,560,000円
研究課題名 磁力を利用した変位縮小機構による微細作業用ピンセットの開発

職 名 先進科学系 准教授
氏 名 谷口 圭輔
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額780,000円
研究課題名 Cs-137による複雑系土砂粒子群動態解析：吸着汚染物質の滞留期間の予測に向けて

職 名 機械システム系 教授
氏 名 加藤 学
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額1,430,000円
研究課題名 平面伸張流動を用いた界面活性剤水溶液の流動誘起構造の生成とレオロジー特性評価

職 名 電気電子システム系 教授
氏 名 中村 重之
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額1,300,000円
研究課題名 無毒で豊富な元素で構成される新規硫化物熱電素子の電極形成

職 名 先進科学系 教授
氏 名 松田 修
研究種目 基盤研究B
金 額 令和5年度配分額4,420,000円
研究課題名 数理モデルを立て分析する能力を育成する数学教材と授業法及びカリキュラムの開発

職 名 電気電子システム系 教授
氏 名 桶 真一郎
研究種目 基盤研究C
金 額 令和5年度配分額1,560,000円

研究課題名 過積載太陽光発電システムの火災予防のための部分影を利用した故障発見法の開発

職 名 先進科学系 講師

氏 名 守友 博紀

研究種目 基盤研究C

金 額 令和5年度配分額1,560,000円

研究課題名 生体組織の深部観察を実現する高効率三光子励起・赤外発光性ナノエマルジョンの開発

職 名 先進科学系 教授

氏 名 佐々井 祐二

研究種目 基盤研究C

金 額 令和5年度配分額1,950,000円

研究課題名 未来のガリレオ育成のための天文教育—連星系理論に基づく食連星の物理量導出—

職 名 電気電子システム系 准教授

氏 名 山本 綱之

研究種目 基盤研究C

金 額 令和5年度配分額1,300,000円

研究課題名 漏洩電磁波抑制と高効率無線電力伝送を可能にするフォーカシングリフレクタの開発

職 名 海外展開促進 特命准教授

氏 名 山田 朱美

研究種目 基盤研究C

金 額 令和5年度配分額1,170,000円

研究課題名 理工系アカデミックジャパニーズに特有の理解困難な表現の抽出と体系化

職 名 技術部 技術専門職員

氏 名 谷口 亜紀子

研究種目 奨励研究

金 額 令和5年度配分額390,000円

研究課題名 高専女子卒業生のライフコース・キャリア形成過程の実証的研究

職 名 技術部 技術職員

氏 名 久保田 絢香

研究種目 奨励研究

金 額 令和5年度配分額370,000円

研究課題名 可視化教材を用いて単元のつながりを意識させるメカトロニクス技術者育成に関する研究

職 名 技術部 技術職員

氏 名 小林 るみ

研究種目 奨励研究

金 額 令和5年度配分額350,000円

研究課題名 受精卵内部の発生過程を観察する、イベリアトゲイモリの受精卵のレジンによる標本作製

○受託事業

事業題目 次世代科学技術チャレンジプログラム
事業委託者 国立研究開発法人科学技術振興機構
事業担当者 情報システム系 宮下 卓也
経 費 直接経費9,090,910円 間接経費909,090円
事業期間 令和5年6月21日～令和6年3月31日

事業題目 文化財資料3D化及び大宮踊3Dモデル化事業
事業委託者 真庭市教育委員会
事業担当者 情報システム系 寺元 貴幸
経 費 直接経費380,000円 間接経費114,000円
事業期間 令和5年6月22日～令和6年3月15日

○受託研究

研究題目 戦略的スマート農業技術の開発・改良
本校担当者 機械システム系 井上 浩行
経 費 直接経費2,656,000円 間接経費796,000円
研究期間 令和5年4月19日～令和6年3月31日

○共同研究

研究題目 PETボトル再生工程で発生するアセトアルデヒドの抑制法の開発
本校担当者 先進科学系 廣木 一亮
経 費 直接経費500,000円 間接経費150,000円
研究期間 令和5年4月1日～令和7年3月31日

研究題目 時系列データを用いたバイトチップング状態推定に関する研究
本校担当者 情報システム系 竹谷 尚
経 費 直接経費10,000円 間接経費3,000円
研究期間 令和5年5月25日～令和6年3月31日

研究題目 ミストCVD法によるリビング重合成膜技術の開発及び微細加工基板への
所選択成膜技術の開発
本校担当者 電気電子システム系 香取 重尊
経 費 直接経費827,272円 間接経費82,727円
研究期間 令和5年7月21日～令和6年3月31日

研究題目 自動裁断機の高速度に伴い発生する騒音・振動低減に向けた振動解析と
改善への回転構造体研究
本校担当者 機械システム系 野村 健作
経 費 直接経費900,000円 間接経費270,000円
研究期間 令和5年5月1日～令和6年2月29日

研究題目 ポリマーのインフレーション成形時における空気噴流による冷却特性の評価
本校担当者 機械システム系 加藤 学
経 費 直接経費250,000円 間接経費25,000円
研究期間 令和5年5月1日～令和6年3月31日

研究題目 車内無線電力給電によるLED点灯システムの開発
本校担当者 電気電子システム系 山本 綱之

経 費 直接経費900,000円 間接経費90,000円
研究期間 令和5年6月30日～令和6年3月31日

○寄附金

寄 附 者 福武教育文化新興財団
寄附の目的 たたら製鉄実験を通じた産業・環境問題への興味と深化
寄附年月日 令和5年4月24日
寄 付 金 額 300,000円

寄 附 者 日本植生株式会社
寄附の目的 教育・研究 補助のため
寄附年月日 令和5年4月24日
寄 付 金 額 150,000円

寄 附 者 津山工業高等専門学校後援会
寄附の目的 教育活動及び課外活動の助成
寄附年月日 令和5年6月12日
寄 付 金 額 4,100,000円

寄 附 者 公益財団法人マツダ財団
寄附の目的 「作ろう・飛ばそうモデルロケット」事業に係る助成
寄附年月日 令和5年6月30日
寄 付 金 額 105,000円

寄 附 者 公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的 「ニューラルオペラント条件付けによるインターネット依存の緩和システムの構築」の研究のため
寄附年月日 令和5年6月28日
寄 付 金 額 300,000円

寄 附 者 公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的 「植物プロテアソームシャペロンPBAC5の構造と機能の解析」の研究のため
寄附年月日 令和5年6月28日
寄 付 金 額 500,000円

寄 附 者 公益財団法人ウエスコ学術振興財団
寄附の目的 「成体で全能性幹細胞を健全に維持する機構の解明」の研究のため
寄附年月日 令和5年6月28日
寄 付 金 額 500,000円

寄 附 者 公益財団法人八雲環境科学振興財団
寄附の目的 関一郎准教授の「チタンの革新的プロセス開発にかかわるバイオマス利用のTiSx(&TiPx)製造プロセスの開発」の研究のため
寄附年月日 令和5年7月27日
寄 付 金 額 1,400,000円

発 行 津山工業高等専門学校
発行年月日 令和5年 9月25日